

## きさらぎのくろんど園地へ

(第92回くらわん会 2004/02/03)

きびしい寒さがやっと和らぎ、なんとなく春の兆しが見え始めた如月の一日、まだ春には少し早い「くろんど園地」から熊野古道につながる「かいがけの道」を歩いた。

京阪私市駅前の小公園に集まった参加者は126名、山本副会長が今回のリーダーでコース説明がある。久方ぶりに佐々山副会長のリードで、ストレッチ体操で身体をほぐす。

私市駅から月の輪道をくろんど園地に向かうと住宅街のはずれに月の輪道の古い改修記念碑が立っている。近くに大阪十三に始まり190年続いた吉向松月窯があり立ち寄って作品を鑑賞する。

19世紀のはじめに、愛媛の吉向治兵衛が大阪の十三に窯を開いたのが始まりで、大阪には数多くの窯場があったが、現在まで続いているのは吉向焼だけである。吉向焼は元来、多彩な技法で知られ、青磁や、三彩のほかに多種多様な技法が使われている。楽焼き、色絵などの茶器が主流である。窯元はこの交野市私市の松月窯と東大阪市の十三軒窯がある。

なだらかな山道から一気に険しくなる尺治谷を月の輪の滝に向かって登る。さすがに高齢者の多い会員にはきびしい登りの行程となる。尺治と呼ばれる谷は、古くは神がおられる神聖なところとされ、滝や大岩などが信仰の対象となっていた。

月の輪の滝には谷を渡り少しわき道に入らないと行けない。巨岩が谷を埋め、その巨岩の合間を滝となって落ちている。この付近一帯はもともと獅子窟寺の寺内で、僧侶達の修業の場であった。僧侶が滝に打たれ、修業僧の鍛錬の場であったところから「金剛の滝」とも呼ばれている。

さらに続く階段と急坂にしばらく挑戦し、やや緩やかに川を渡って、最後の砂防突堤脇を登りきると後は幅の広い山道が続き、浮見堂が浮かぶすいれん池横の整備されたくろんど園地の休憩所に到着し滲み出た汗をぬぐう。

園地の中の整備された林道を暫く行くと、やがてくろんど園地の管理棟と第一キャンプ場に到着

佐々山副会長のリードで久方ぶりのストレッチ体操



十九世紀のはじめに、愛媛の吉向治兵衛が大阪の十三に窯を開いたのが始まりの吉向松月窯



吉向松月窯の展示場でご主人と紹介してくれた毛利世話人



月の輪滝道を神々の谷といわれた尺治谷に向かう





巨岩が谷を埋め、その巨岩の合間を滝となって落ちる、この付近一帯はもともと獅子窟寺の寺内で、僧侶達の修業の場であった。僧侶が滝に打たれ、修業僧の鍛錬の場であったところから「金剛の滝」とも呼ばれている

「尺治」と呼ばれる谷は、古くは神がおられる神聖なところとされ、滝や大岩などが信仰の対象  
急な階段と大岩がごろごろある高齢者にはきつい行程  
月の輪の滝には谷を渡り少しわき道に入らないと行けない

する。総面積 105 万平方メートルの広大な自然公園敷地にはいくつもの散策路が設けられていて、せせらぎや起伏に富んだハイキングコースがある。近くにはバーベキュー広場や第二キャンプ場もあり、ここで思い思いに場所を確保して昼食をとる。

昼食休憩後の空き時間に周囲の遊歩道を回ってみると、八ツ橋周辺に根の所々からひげ状の気根がニョキニョキと立ち上がるラクウショウ（落羽松）別名ヌ マスギの木がたくさんある一角があり不思議な光景だった。春の兆しを探してみたが、木の芽はもう芽吹き準備が終わっているが、まだ冬真っ盛りで春らしい光景には出くわさなかった。

昼食後に全員を集めて昨夜来の雨の影響から滑りやすくなっている「かいがけの道」を避けて、緩やかな林道が続く「傍示の道」への選択を体力に合わせて選ぶよう呼びかける。

蓮華寺近くの傍示の道に出ると開けた棚田が、のどかな景色を展開してくれる。やがてかいがけの道への分岐から落ち葉の積もった狭い谷を一気に下る。大和へ仏師が行き来した道だったためか、金毘羅さん、能勢妙見、愛宕山、岩清水八幡宮など曲がり角のたびに伏拝が点在し、途中にはごみの木地蔵やかいがけ地蔵などの石仏が岩に彫られている。

かいがけの道を下りきったところに住吉神社がある。住吉神社からはのどかに続く交野市の寺、森の村落の中の道をのんびりと JR 河内磐船駅へと下った。  
富田朝己記

大岩に翻弄される道が高齢者の会員にはつらい道のり





最後の難関の砂防突堤を登るともうく  
ろんど園地  
あと少しでくろんど園地、最後の岩  
場



浮見堂のある冬枯れのすいれん池  
設備の整ったくろんど園地すいれん池  
横の休憩所



くろんど園地の第一キャンプ場で昼食  
休憩  
くろんど園地の第一キャンプ場で昼食  
休憩



昼食休憩を終わり第二キャンプ場を  
經由してかいがけの道へと出発  
第一キャンプ場周辺で思い思いに場所  
を確保して昼食をとる





八ツ橋周辺に根の所々から気根がニョキニョキと立ち上がるラクウショウの群落



棚田がのどかに広がる傍示の道を行く、蓮華寺付近



傍示の道からかいがけの道への分岐で健脚組と分かれる



かいがけの道への分岐から落ち葉の積もった狭い谷を一気に下る



かいがけの道は古来からの大和と河内を結ぶ重要な交通路



いくつかの地藏尊が祀られた広場「かいがけ地藏」入口の一体



かいがけの道を下りきったところに住吉神社がある



住吉神社からはのどかに続く交野市の寺、森の村落の中の道をのんびりとJR河内磐船駅へ



如月のくろんど園地へ

＜行程＞

京阪私市駅⇒尺治谷⇒月輪滝⇒すいれん池⇒くろんど園地⇒キャンプ場（昼食）⇒かいがけの道⇒住吉神社⇒JR 河内磐船駅 約 8 km

2004年02月03日（火） 第92回例会 126名参加